

令和4（2022）年度東京大学大学院法学政治学研究科総合法政専攻修士課程学生募集要項の変更点について（B選抜用）

2021年度実施の総合法政専攻修士課程入学試験のB選抜は、募集要項に以下のような変更を加え、「研究計画書」等の審査による「書類審査方式」で実施します。

1. 出願資格

変更ありません。

2. 募集人員及び選抜方法

「(3) 入学者の選抜は、次の方法による。」の「選抜方法」及び「注4)」部分を以下のように変更します。変更箇所を下線を引いてあります（以下同じ）。

研究計画書（B選抜用）、口述試験、小論文、出身学校の学業成績による。
B選抜は試験日程がA選抜、C選抜及びD選抜と異なるので注意すること。

4) B選抜（特別選抜）の口述試験は、提出書類により審査を実施し、合格した者のみを対象に行う。

3. 試験科目

筆記試験を行いませんので、この部分の記述は該当しません。

4. 試験期日及び場所

筆記試験は行いません。また、口述試験の日程には変更ありません。

5. 合格者の発表及び入学手続

変更ありません。

6. 出願手続

「(2) サの2.」として、以下の記述を追加します。

サの2. 研究計画書（B選抜用）

所定の書式（別紙、A4判）に研究計画を記入したもの。研究計画書の作成要領は書式の冒頭に記載してあるので、こちらをよく読んで作成すること。研究計画書（B選抜用）への記名は自署によるもの

とする。

なお、「カ.」に記載された小論文についての指示には変更ありません。

7. オンライン口述試験について

口述試験は **Zoom** ミーティングを使ったオンライン方式で行います。したがって、口述試験を受ける場合には、**Zoom** ミーティングをいえるよう、予め準備していただく必要があります。詳細は後日アナウンスします。

口述試験では、研究計画書に沿って研究計画やこれまでの学習経緯について質問する他、外国語の能力を確認するための質問をすることもあり得ます。